

学習指導計画

教科書：NEW WORLD English Course Lesson 9 Bananas Speak (三友社)

1 単元の目標 ()内の記号は評価規準との関わりを示す。

- (1)日本とフィリピンとのバナナ貿易を論じた英文を、教科書用 CD を聞きながら読み、南北問題を自分自身と結びつけて読み取り、自分の考えを表現できる。〔A2, B3, C1, C3, D2〕
- (2)正確及び適切な音読を通して、内容を理解する。〔A1, B1, B2, C2, D1〕
- (3)暗唱を通して学んだ重要表現を用いて、自分について表現する力を養う。〔A2, B3, B4〕

2 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
A1 音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。 A2 間違いを恐れず自分の考えなどを書いている。	B1 正しいリズムやイントネーションを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 B2 文章の意味や作者の意向を考えて適切に音読したり、暗唱したりすることができる B3 伝えたい情報や考えを正確に書くことができる。 B4 伝えたい内容、場面に応じて語句や表現を選択し適切に書くことができる。	C1 聞いた内容について概要や要点を把握することができる。 C2 書かれた内容について正しく読み取ることができる。 C3 読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	D1 「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 D2 南北問題について理解することができる。

3 単元の指導計画

時間	該当箇所	学習内容	評価規準とのかかわり	評価方法
1 2	Part 1,2,3	日本のバナナ輸入の概要をつかみ、自分自身と結びつけて考える。	A1, A2, B4, C1	観察 ワークシート
3	Part 1	バナナ輸入史を説明する文章の聞き取り・読み取りを通して、重要表現を学ぶ。	A2, B1, B3, C2	〃
4	Part 2	バナナ生産の現状を説明する文章の聞き取り・読み取りをし、重要表現を学ぶ。	〃	〃
5	Part 3	南北問題を説明する文章の聞き取り・読み取りを通して、重要表現を学ぶ。	B1, B3, C2, D2	〃
6	Part 1,2,3	正確、適切な音読(暗唱)を心がけて練習する。	A1, B1, B2	ワークシート
7	まとめ	本文の内容を復習し理解を深める。	C1, C2, C3, D2	〃
8	Exercise	練習問題で語句・文法の定着を図る。	D1	〃
9	全体	音読テストで表現力を養う。	A1, B1, B2	音読テスト

4 授業展開例

指導過程 (A) - 1 時間目 -

【指導目標】

「日本のフィリピンからのバナナ輸入」を論じた英文を読み、本文の内容と自分自身を結びつけて読み取ることができる。

【活動の手順】

- ・本文を読む前に、生徒の背景となる知識を高めるための発問をし、生徒の学習意欲を喚起する。
- ・本文の内容について Q & A を行い、目的を持って読む姿勢を育てる。
- ・生徒同士でペアをつくり、相手と歩調を合わせて音読する。
- ・本文に出てきた重要表現を用いて、自分について表現する。

T: How are you getting? Are you fine? I am a little hungry because I skipped breakfast.

So, I'd like to eat bananas. We are going to talk about bananas in today's lesson.

T: Now I'd like you to answer the following questions before reading the textbook. Question 1. How many bananas do you eat in a month? Question 2. Where do bananas come from?

Question 3. What kinds of food are made of bananas? Question 4. What would our life be without bananas? (質問を板書し、ペアで質問し答えさせる。その後、生徒を指名し質問に答えさせる。)

T: Now you're going to listen to the CD. You can read the textbook while listening. Find answers to the following questions. 1. フィリピン産バナナは日本では何%以上を占めているか? 2. フィリピン産バナナはどなたところで生産されているか? 3. バナナ生産に携わる労働者の賃金はいくらか? 4. どうして低賃金なのか? You can discuss the answers with your partners. OK. Listen to the CD. (CD を流す)

T: Did you find out the answers? Let's check vocabularies. (新出語彙の意味を確認する) Let's read the textbook again. (CD を流し本文を読ませる)

T: OK. Did you understand? Now I'll give you some hints. (答えのヒントを出す) Let's read the textbook once again. (CD をもう 1 度流し本文を読ませる)

T: I'm going to ask the answers. Who found out the answer to question No. 1? (他の質問にも答えてもらう)

T: Now let's read aloud the textbook. Repeat after the CD. Are you ready?

S: (CD を聞きながら音読する)

T: (机間指導をして生徒が読めない箇所を見つけ、この後、音声指導をする)

T: Now, please make pairs. You're going to do the shadowing. (1 人は教科書を閉じてパートナーの読む声を真似し、もう 1 人は相手のことを考えながら教科書を音読する。チャンクごとに切ること、リズムに注意することを伝える。)

T: 今日の重要なポイントは、「～につき」という意味の “a” と “per” です。たとえば、僕の場合なら、次のような表現ができます。As a college student, I used to take a bath once a week. みんなはどうか? 自分のことから、“a” や “per” を使って表現をつくってみよう。(次のようなワークシートを配る)

Picture	Class:	No:	Name:

S: (例文を書く)

T: (用紙を回収する。次の授業で良い作品をいくつか紹介する。)

指導過程 (B) - 4 時間目の一部 -

【言語材料】主語 + be 動詞 + 補語(節)

【指導目標】実際のコミュニケーションで起こりそうな場面で、主語 + be 動詞 + 補語(節)を使って自分に関連した事柄を表現できる。

次の対話文を教師が一人二役で話す。

Close your textbooks and notebooks. Look at the blackboard. Imagine you have a girl you like. After school you have a talk with a friend about her. You and Your friend speak only English. Imagine the following situation.

(生徒) You know Keiko, don't you?

(友達) Yeah, she is very cool and beautiful. What's up?

(生徒) I asked Taro to introduce me to her, because he said he knew her very well. But...

でも、(①実は、彼は1度も彼女に会ったことがなかったんだく板書する>)

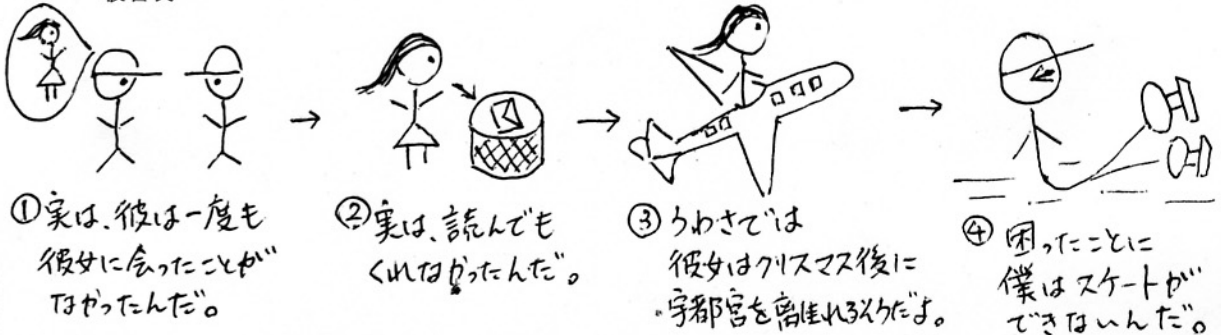
(友達) That's too bad.

(生徒) Then, I tried writing to her, but she didn't reply. (②実は、読んでくれなかったんだく板書する>)

(友達) Uh... (③うわさでは、彼女はクリスマス後、宇都宮を離れるそうだよく板書する>) Ask her for a date on the phone right away. What about skating? I hear she is good at skating.

(生徒) That sounds good, but (④困ったことに、僕はスケートができないんだく板書する>)

- 板書例 -



板書した①～④までの表現をみんなだったら、どう表現するか考えてみよう。間違ってもいいから前に出て黒板に書いてみよう。(生徒を4名指名する)

生徒が板書を終えた後、日本語の部分を英語に直して、もう一度スクリプトを教師が読んでみる。

間違いを生徒に気づかせ、訂正させる。

■表現活動

下のようなワークシートを配り、今日学習した表現を使って、各自が自由にいろいろな場面を考えて英語表現を作らせる。絵や解説をつけることを勧める。次の時間に紹介する。

Class:	No:	Name:
	<p>I wanted to go to the movies with Hanako, but the problem was I hadn't brought enough money.</p>	

授業における評価方法の工夫

前述の授業展開例（指導過程 A , B）のように、授業の最後に自己表現活動を促すワークシートを配り評価した。良い作品は印刷して生徒に配布したり、教室の掲示板に貼ったりしてお互いに学び合う材料にした。

【音読テストの実践例】

授業中には、Read and Look Up 専用に、本文をセンタリングしてプリントしたものを配布した（下図）。チャンクごとにセンタリングすることによって、スムーズに視線を移動できると考えた。また、Ken の発話に斜字体を用いることで、Lisa と Ken のそれぞれの発話を明確に分けた。

Read and Look Up
Lesson9 Part 1

Lisa : Do you know where this banana comes from?
Ken : From the Philippines?
Lisa : Right!

Today more than 70 percent of the bananas in Japan
come from the Philippines.
Ken : More than 70 percent?
Lisa : Yes. The first Philippine bananas
were imported into Japan in 1968.
And their share of the Japanese banana market
once reached more than ninety percent.

さらには、Read and Look Up のテストを行うことによって、指導内容と評価内容の一体化を図った。

テスト時に、次のようなカードを配布し、音読テストと共に、自己評価もさせた。

Lesson 9 音読テスト英文

下に見てある英文を **Read and Look Up** 形式で読みなさい。

YOU : Do you know where this banana comes from?
TEACHER : From the Philippines?
YOU : Right! Today more than 70 percent of the bananas
in Japan come from the Philippines.
TEACHER : More than 70 percent?
YOU : Yes. The first Philippine bananas were imported
into Japan in 1968. And their share of the Japanese
banana market once reached more than ninety
percent.

自己評価 :	適切な大きさの声で読むことができた。	[4 3 2 1]
ポイント	正確なイントネーション、発音で読めた。	[4 3 2 1]
	感情を込めて読むことができた。	[4 3 2 1]

実際に実施してみると、生徒たちは一生懸命取り組んでいた。テスト後、話を聞いたところ、適度なプレッシャーもあり、やってみてよかったという感想が多かった。しかし、Read and Look Up形式でという前提があったにもかかわらず、終始、用紙を見て読んでいるだけの生徒が多かった。今後、次のように改善していくことが有効であろう。

1. 音声を通して文の意味を理解できるまで口頭練習させる。書きながらでは声が出ないので、筆記用具を持たせず、文字に頼らずに練習させる。
2. 時間を与えて口頭練習用の英文を書かせる。その際、机間指導をして質問を受ける。
3. 音読テストの前に、ペアで練習する十分な時間を設定する。
4. 生徒3～4名ずつのグループで相互評価させる。

次の段階では、キーワードをもとに内容を思い出しながら、テキストを暗唱する活動へと発展させる。

ペーパーテスト(定期考査)の工夫

< 出題例 1 > - 表現の能力に関する設問 -

日本の店頭にあるエビ(shrimp)のうち87%が輸入である。主な輸入相手国はインドネシア(Indonesia)である。インドネシアにおける冷凍工場の労働者の賃金は、1日100円～200円。日本でのスーパーの価格は20尾で1,000円である。この現状を述べた後、教科書に書かれていたバナナ貿易の問題点を参考に、エビ貿易の問題点について50語程度の英語で自由に述べなさい。

評価ポイント (1)書いた量 [4 3 2 1]
(2)わかりやすさ [4 3 2 1]
(3)英語の正確さ [4 3 2 1] / 12

この問題は、教科書で扱ったバナナの輸入問題と共通の問題点をもつ「エビ輸入の現状」について出題した。設問に評価のポイントを載せて評価の方法を示した。

< 出題例 2 > - 理解の能力に関する設問 -

これはリスニングの問題である。今から英語の文章が読まれるので、それを聞き、下の問いの()内に数字を入れなさい。なお、算用数字で解答してもよい。【2点×5】

1. たくさんのバナナが台湾から日本に輸入されていたのは19()年代である。
2. 1975年には、日本はフィリピンから()トン以上のバナナを輸入していた。
3. プランテーションで働く人たちの日当は()円である。
4. 彼らが1キロのバナナを生産して得られるお金は()円である。
5. 我々日本人がスーパーでバナナを買うと、1キロ当たり()円である。

読まれるスクリプト

Do you like bananas? Do you know where the bananas come from? More than 70 percent of the bananas in Japan come from the Philippines.

In the 1960s Japan imported a lot of bananas from Taiwan. Japanese people liked bananas very much. So American fruit companies began to grow bananas in the Philippines.

The first Philippine bananas were imported into Japan in 1968. In 1975 Japan imported more than 700,000t of bananas from the Philippines. Their share of the Japanese banana market once reached 90 percent.

Philippine bananas are grown on plantations. What are plantations? It is a big farm where bananas are grown only for export.

The workers on the plantations work for very low wages. Their wages are 500 yen a day. When the workers produce 1kg of bananas, they get 2.5 yen. Between the Japanese people and the banana plantations there are big fruit companies, their subsidiary companies, trade companies, whole sales and supermarkets. When the Japanese people buy bananas at a supermarket, the price is 250 yen per 1kg.

このスクリプトは、授業で扱った題材にいくつか新たな情報を付け加えて、書き直したものである。授業においては、数詞・年号・小数・分数の音読練習を行った後、上記のスクリプトに関して()内に適語を補充する形式で実施した(その時には、数字以外の部分も空所にした)。

定期考査では、数字に焦点を当てて出題した。授業中に行ったときと比べて、定期考査のほうが得点率が高かった。中には数字を覚えていて得点した生徒もいたが、定期考査後のアンケートで授業と定期考査について聞いたところ、「音読練習に取り組むようになってから、英語の音が聞き取れるようになってきた」という意見が多く見られ、音読練習の効果があったと思われる。

< 出題例 3 > - 知識・理解に関する設問 -

次の会話文からは、ア～オの語が削除されています。それぞれの語が本来どこにあったのか指摘しなさい。(本来あった位置に戻した場合に、その前と後ろに来る語を書くこと) 【2点×5】

ア because イ few ウ found エ low オ why

Ken : Can you tell me so many Philippine bananas are imported into Japan?

Lisa : I think it is of some American fruit companies. They have banana plantations in the Philippines. They Japan was the best market for them and expanded their plantations.

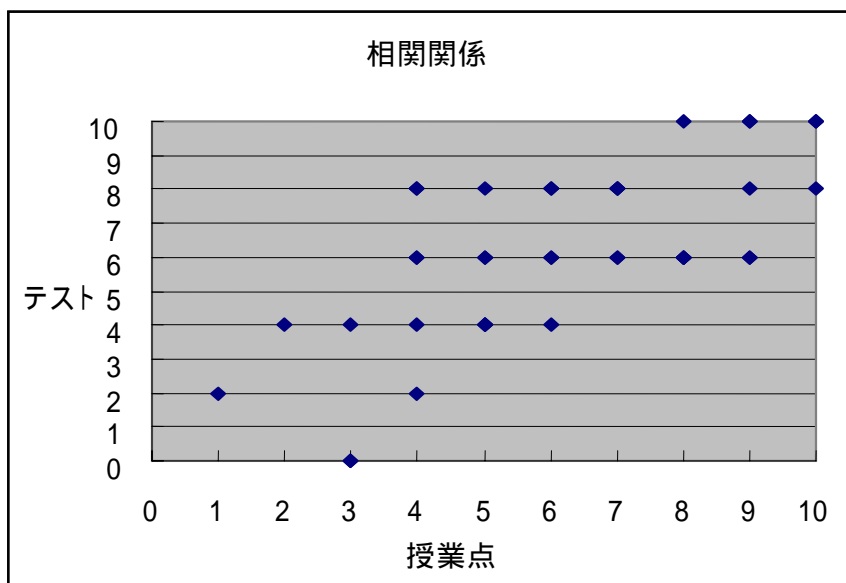
Ken : Why did they choose your country for growing bananas?

Lisa : Because we have plenty of rain but typhoons. And many people on the plantations work for very wages.

Ken : Oh, really?

Lisa : Yes.

授業中における音読の取り組み状況と、この大問(出題例 3)との相関関係を調べてみると、下表のように相関がみられた。



縦軸は、出題例 3 の得点(1 問 2 点)を示す。

横軸は、普通の授業における音読活動の観察を通して 10 段階で評価した。毎時間(10 時間)に、取り組み良好な生徒にはプラス 1 点を加算し評価した。

【普通の授業時において利用した音読観察シート（教師用）】

		15	10	5
23	19	14	9	4
22	18	13	8	3
21	17	12	7	2
20	16	11	6	1

はプラス1点を示す

考察・まとめ

1学期は主に訳読を中心に授業を進めていたが、2学期から表現活動を取り入れ、かつ音声を重視した授業形態に変更した。そのため、最初は生徒たちにも戸惑いが見られたが、次第に意欲的に授業に取り組むようになった。定期考査を振り返ってみると、授業中に一生懸命に音読練習をしている生徒は定期考査でもよい結果をあげていた。

また、定期考査後のアンケートの結果、次のような授業に関する感想が出された。

- ・教科書の本文が以前よりも覚えられるようになった。
- ・授業が楽しくなってきた。
- ・英語が嫌いな人もこれなら好きになれると思う。
- ・慣れない部分もあり難しかったが、発音などをやったほうがいいと思うのでこのままでいい。
- ・前と違うやり方だけど、個人的にはいいと思う。
- ・英文を読むことは自分の身に付くからいいと思う。
- ・音読によって暗記力・会話力が身に付いていい。
- ・読んだり書いたりしたことが増えたので、そこはいいと思う。
- ・今までよりも英語を勉強している感じが強くする。
- ・英語を使ったミニゲームをやってみたい。
- ・音読テストではうまくしゃべれたか心配だが、いい経験になった。
- ・授業が正直やりにくい。
- ・テストが難しかった。

感想を書いた大半の生徒がプラスの評価をしている。中には、授業がやりづらいので、もとの訳読形式に戻して欲しい、ということを書いた生徒もいた。訳読式の授業に慣れていた生徒たちなので、そのような感想が出てくることも理解できる。しかし、多くの生徒が表現活動や音読を取り入れた授業に何らかの期待を示しているため、今後も音声を中心に指導し、生徒全体に表現活動の意義を浸透させていきたい。

また、音読を取り入れた授業によって、英語の音声が聞き取れるようになってきた生徒が増えてきているので、音読とリスニングは密接な関係があると実感できた。今後、さらに表現活動やペアワーク、相互評価を取り入れてクラス内に生徒同士の相互理解と信頼関係を養いたい。